

理事長	施設長	相談員

社会福祉法人公生会 特別養護老人ホームとまとの里
令和6年度 第3回 運営推進会議 議事録
議事録作成：黒木

日 時	令和6年9月19日(木) 14:00～15:00	場 所	特別養護老人ホームとまとの里 地域交流室
参加者	ご家族	1名	
	城原地区自治会長		
	大在地域包括支援センター		
	とまとの里職員	5名	

議 事

1.運営報告(第2回会議以降、9/18まで)及び今後のスケジュール

- ・運営状況及びスケジュール、資料に記載

◎運営報告に関する追加説明

- ・7/31グループ内連携会議…有事に備えてのグループ内での連携体制の構築、平時からの情報共有
- ・8/9 災害対策本部会議…前日の地震、南海トラブ巨大地震警戒情報を受け緊急開催
事業継続計画の確認、課題の確認
- ・認知症家族介護支援講座…感染症の発生や参加者の体調不良により、来月以降開催
- ・今年度より開催の生産性向上委員会については、月1回の部門長会議(全体会議)内での検討へ変更

◎今後のスケジュールに関する追加説明

- ・10/15～認知症介護実践者研修 介護職員1名参加
- ・11/4 季節行事『里の祭』

施設長より:今年度の施設目標である開かれた施設づくりの一環として、コロナ禍でストップしていた行事を再開し、ご家族様とともに楽しめるイベントを目指している
開催時間をユニットごとに設定することで、混雑を避ける工夫をしている。

2.事故報告とリスクマネジメントの取り組み

- ・事故報告件数、詳細は資料に記載

看護師) 事故報告内訳の中の内服薬の紛失について、後日医務室内で発見した。服薬カレンダー内にセットしたものが何らかの理由で落下したが気づかなかったと思われる

- ・事件事例報告(詳細は資料に記載)

【事故概要説明後、質疑応答】

包 括) 貧血でふらついた可能性は

看護師) 病名としては、アルツハイマー型認知症。今年の5月にグループホームより入居された方で、当初は仙骨部に褥瘡があり、痛みからか動きも少なかったが、7月初旬に完治して以降徐々に活気が見られるようになり、車椅子自走をしたり、ベッドから一人で移ろうとする動きも見られるようになってきている

家 族) 特別養護老人ホームの入居者でトイレに行ける方がいることに驚きました

・リスクマネジメントの取り組み

安全管理委員会を中心に、予見可能な事故に対しての評価を実施し、ルール作りを実施。

また、ケアの手順やルールの啓発を実施

→前年度は、誤薬が多かったが、今年度に入りほとんど報告されなくなっている

3.苦情報告と委員会の取り組み

苦情および苦情ひやり・はつについて、部門長会議内で委員会を開催することにより、すべての職種が参加しての共有や再発防止対策の検討が可能となった。

* 事例は資料内に記載

4.体調管理の取り組み

嘱託医との協定、多職種連携 * 詳細資料参照

【質疑応答】

包 括) 嘱託医はどちらですか

施設長) 関愛会の佐賀関病院へお願いしている。本年の5月～6月にかけて、夜間や休日等の緊急対応や看取りの際の対応等の詳細を検討し、書面にして取り交わしを行った。

包 括) 夜間の職員体制はどうなっているか

施設長) 夜間は、2名の介護職員でケアにあたっている。看護師はオンコール体制をとっており、異変があれば連絡するようになっている

包 括) 胃ろうや吸引等医療依存度の高い方はどのくらいいるか

看護師) 胃ろう対応と吸引対応は資格を持った介護職員と共同で実施している。

インスリン注射の実施者が1名、バルーンカテーテル留置者が2名、透析治療実施者が1名いる。

インスリンと胃ろうからの内服注入はは看護師不在時は対応ができないため対策が必要。

包 括) インスリンに関しては、いろいろなタイプが出てきているので相談してみるのも一つの方法かもしれない。

相談員) 最近では、医療依存度の高い方からの入居相談が非常に多くなっている。有料老人ホーム等が増える中で、特養に求められる部分が医療依存度の高い方へ変遷してきていることは仕方がないが職員の手は限られているため、どのように対応していくのが今後の課題ともいえる

5.意見交換

施設長) 運営報告でも触れたが、認知症家族介護支援講座を来月以降開催予定へ日程変更

現在の参加希望者は1名だけなので、他にも希望者がいれば参加して頂きたい。

全4回の参加でなくても、どこか1回でもよいので知らせて頂けると有難い。

* 次回開催予定

令和6年11月中旬頃

